

文化庁 地域文化倶楽部

有識者会議資料 Vol.1

令和2年5月27日（水）

公益財団法人 音楽文化創造

本日の内容

1. 公益財団法人音楽文化創造の活動紹介
2. 学校文化部の実情
3. 地域の支援体制の実例紹介
4. 音楽文化創造からの提言

公益財団法人音楽文化創造の活動

- ・ 1996年（平成8年）に音楽振興法の成立に伴い財団法人として設立
- ・ 生涯音楽学習の環境整備および地域の音楽文化振興の促進

◆人材育成事業

- ・ 音楽指導者対象の生涯学習音楽指導員講習会 指導員約2,000名認定
- ・ 一般向け地域音楽コーディネーター養成講座 コーディネーター約700名認定

音楽で地域コミュニティを豊かに

地域音楽

コーディネーター

養成講座開催

東京 7/11(土) 2021/1/30(土)

大阪 8/29(土)

北海道 9/26(土)

名古屋 12/5(土)

埼玉 2021/3/6(土)

公益財団法人音楽文化創造の活動

- ・ 地域住民による草の根活動による地域の文化振興促進

◆助成事業

- ・ 国際音楽の日記念コンサート実施音楽団体への助成
- ・ 全国生涯学習音楽指導員協議会主催のFORUM in 国際音楽の日への助成



【活動報告】ともだちコンサートin砂川
[2019年度助成事業]



【活動報告】第3回 MUSIC
FESTA[2019年度助成事業]



【事例紹介】四歳児からの箏曲レッスン

公益財団法人音楽文化創造の活動

- ・ 地域住民による草の根活動による地域の文化振興促進

◆子ども達の体験機会の促進

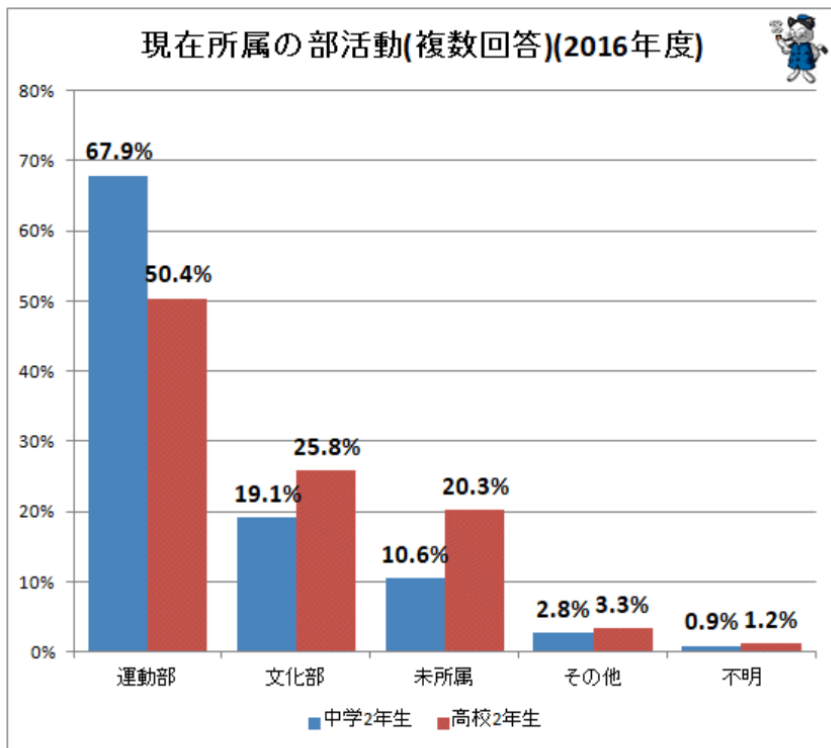
- ・ 皆で協力し合う機会
- ・ 伝統楽器に触れる機会
- ・ いろいろな世代の人達と触れ合う機会



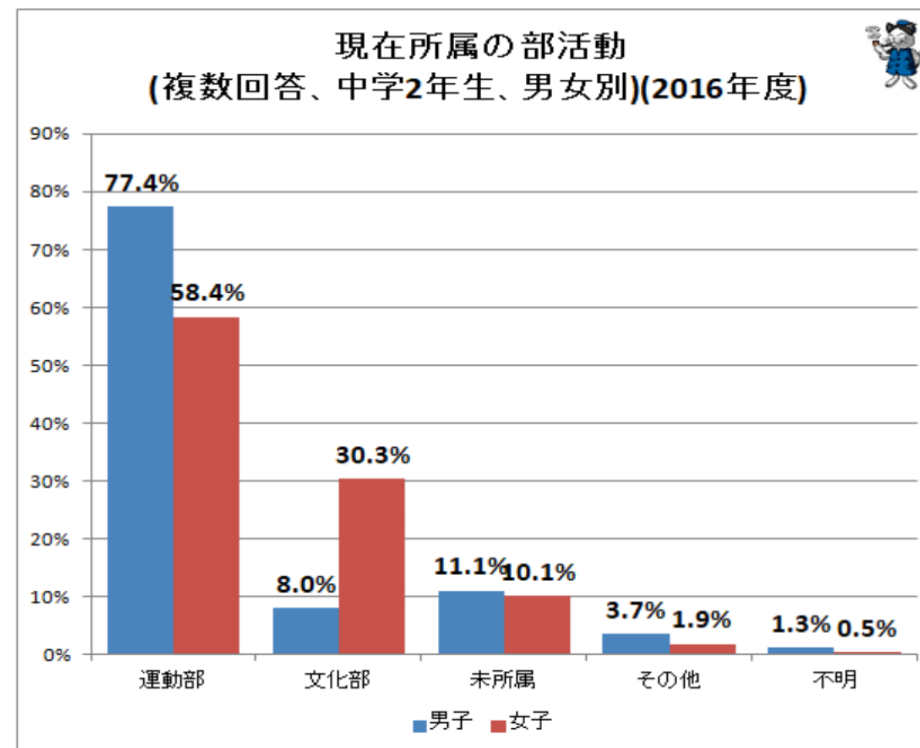
中高生の部活事情（運動部と文化部）

「青少年の体験活動等に関する実態調査」（平成28年度調査）報告書

- ◆中学生は約7割、高校生は約5割が運動部
- ◆文化部は中高生ともに女子が多い



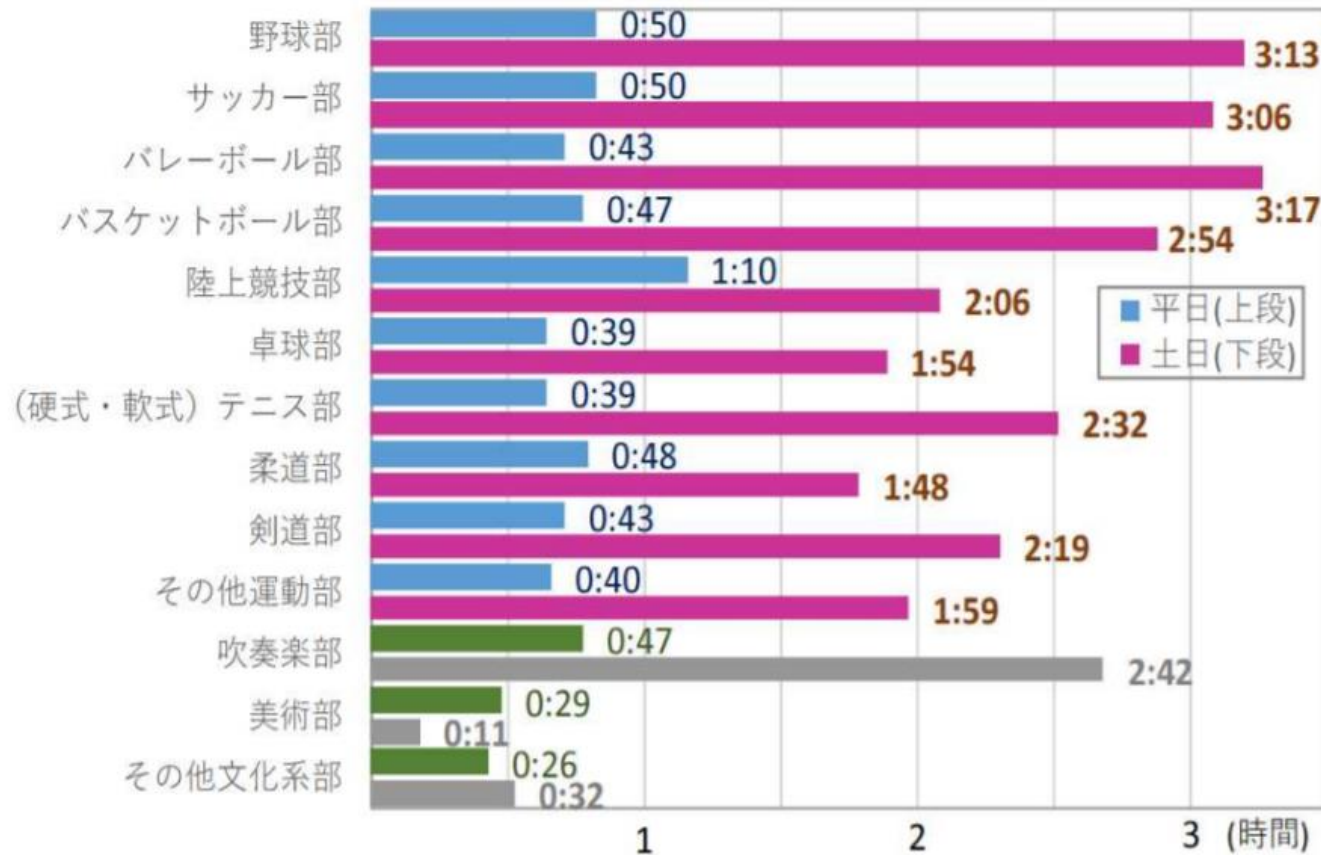
↑ 現在所属の部活動(複数回答)(2016年度)



↑ 現在所属の部活動(複数回答、中学2年生、男女別)(2016年度)

中学校 部活動種類別 週1日当たりの部活動勤務時間

- ◆吹奏楽部は運動部と同じくらい活動時間が長い
- ◆その他文化部は活動時間が短い



(出典) 文部科学省初等中等教育局
「教員勤務実態調査(平成28年度)
の集計(速報値)」を基にスポーツ
庁において作成

中学生の学校生活と部活動に関する意識調査

東京大学教育学部比較教育社会学コース調査

◆部活動に力を入れている

男子：球技系・音楽系

女子：音楽系・武道系

- ・球技系：サッカー部、野球部、バレー部
- ・音楽系：吹奏楽部、合唱部、音楽部
- ・武道系：剣道部、柔道部、弓道部
- ・個人競技系：陸上部、水泳部、体操部

◆部活動にあまり力をいれていない

男子：芸術系・その他文化系

女子：芸術系・その他文化系

- ・芸術系：美術部、演劇部、書道部
- ・その他文化系：科学部、家庭部、生活部

学校文化部を取り巻く諸問題

諸問題

- ◆働き方改革への対応
(教員の長時間労働、顧問のボランティア化他)
- ◆少子化による学校の統廃合
- ◆吹奏楽部、合唱部以外の芸術系文化部の停滞
- ◆大会で勝つことが活動の目的となっている

不足要因

- ◆指導者不足
- ◆練習場所の不足
- ◆体験機会の不足
- ◆自由闊達な楽しみ方の不足



不足を補うため地域社会のリソースで支える仕組みが必要

子どもの感性を育むには

発達段階

胎児：母親の心音、話し声

赤ちゃん：母親の子守歌と触れ合い

幼児：保育園でのお歌とお遊戯

児童：社会との関り

育まれるもの

愛情：安心感、幸福感、好奇心

冒険心、行動力、意欲

ハーモニー：個性、協調性、創造力

役割：責任感・達成感・自己肯定感

地元への誇り、郷土愛



地域住民による学校文化部支援活動

地域音楽コーディネーターの活動

◆下北Jrウインドオーケストラ

- ・青森県むつ市で小学校の部活廃止に伴う受け皿として設立
- ・公共施設、行政、地元吹奏楽団、海上自衛隊、地元企業、楽器店他協力
- ・演奏法以外の学び重視（ダンス、演劇ワークショップ、親子音楽鑑賞他）



その他地域で支える文化部の活動

◆半田ジュニアブラスバンド

- ・ 愛知県半田市で23年続く地域支援ジュニアブラスバンド
- ・ 教員OB、楽器店が発起人となり地元企業、行政の後押しで継続
- ・ OB、市民の協力により今では海外とも連携する半田市を代表する音楽団体



第1回 半田ジュニアブラスバンド定期演奏会 豊橋ホール '90.11.22

第1回定期演奏会



2001年オーストラリア親善演奏旅行



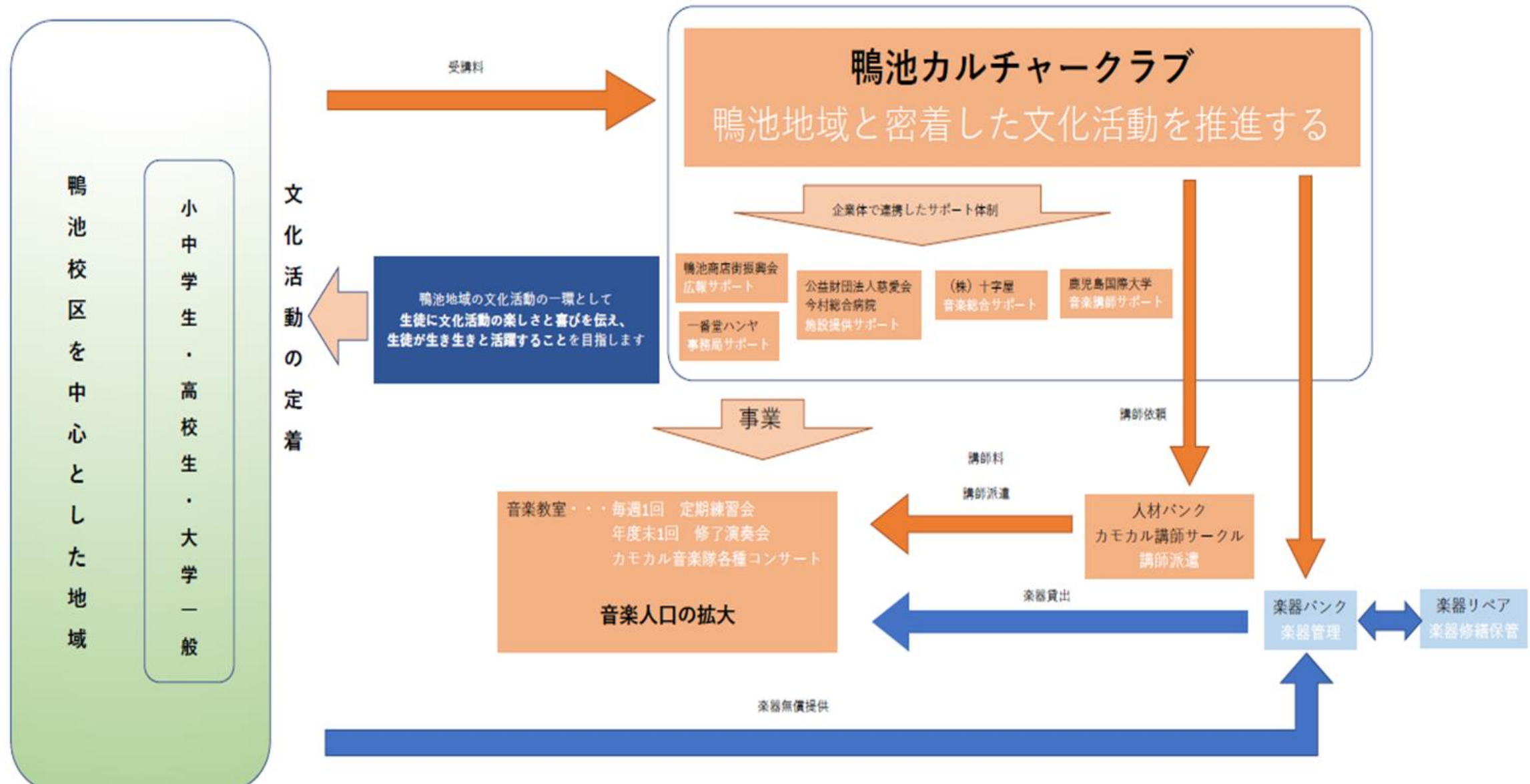
オーストラリア コアラオーケストラ
とのフレンドシップコンサート

学校文化部地域支援の実例

- ◆鴨池カルチャークラブ（鹿児島市）こども吹奏楽団
 - ・地元建設会社、総合病院、楽器店、鹿児島国際大学、地元商店街振興会
- ◆城山西小学校（宇都宮市）文化人特別授業・農業体験授業
 - ・文化人（書家、彫塑家、陶芸家、箏曲演奏家、ダンサー）、地元住民
- ◆公共施設と住民（大人と子ども）のコラボによるケース
 - ・戸田市民ミュージカル（戸田市文化会館）
 - ・リコーダーず（横浜市磯子区民センター）
 - ・こどもオペレッタ（袋井市月見の里学遊館）

地元の理解と協力を得て活動し、地元還元することで地元の誇りになる

総合地域文化活動クラブ
鴨池カルチャークラブ モデル



学校文化部地域支援体制の諸問題

・吹奏楽部の例（一番人気があり、ハードルが高い）

諸問題

- ◆楽器備品の確保・メンテナンス
- ◆練習場所・楽器保管場所
- ◆指導者の確保・指導法・レベルの担保
- ◆運営費・人件費・会場費・運搬費
移動費・広告宣伝・募集

地域リソース活用策

- ◆旧学校備品やレンタル楽器活用
- ◆公共施設や廃校他活用
- ◆音楽団体、音大他にて認定制度検討
ティーチングアーティスト活用
- ◆原則受益者負担（社会包摂的配慮）
地元企業、行政との連携
リモートレッスン他活用（ICT化）

新しい仕組みには新しい指導者が必要では！

国際シンポジウム

ティーチング・アーティストの
世界的第一人者
エリック・ブライス氏とともに
考える



2020 5.30 (土)
13:00~17:00
ヤマハ音楽振興会 3F 研修室
〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-24-22

テーマ
「音楽と社会：社会における音楽家の役割、
音楽家にできること、できないこと」

求められる資質

- ◆楽しいレッスンが出来る
- ◆コミュニケーション力が高い
- ◆技量指導 より芸術体験を重視する
- ◆専門知識（実演・指導方法）が豊富
- ◆学校、教員、父兄との連携がとれる

5月30日（土）9:00～ Zoomセミナー

普及拡大には公に認められた認定制度が必要